

安全かつ適切な部・同好会運営のための要項～硬式野球部～

1. 活動での具体的な安全管理対策

1-1 練習に関して

- 1-1-1 練習・試合の予定表を部長・顧問に提出する
- 1-1-2 練習中の怪我、トラブルなどが生じた場合は直ちに部長・顧問に報告する
- 1-1-3 練習中は積極的な給水を促す
- 1-1-4 5~8月の練習ではWBGT計を設置し30分毎に記録する
- 1-1-5 WBGT計で31度以上の場合は練習を一旦中断し体調の確認、水分塩分摂取、グラウンドに水をまくなどの措置をとる
- 1-1-6 WBGT計の温度に関わらず、どの時期であっても熱中症にかかるリスクがあることを部員は認識して練習に取り組む
- 1-1-7 頭部に外傷が加わった場合は直ちに病院を受診する
- 1-1-8 脳振盪と診断された場合は競技復帰に対し十分な時間をかけ専門医の指示に従う
- 1-1-9 「頭部外傷10か条の提言 第2版」を部員に配布する
- 1-1-10 日頃から自身の体調管理に努め、体調が悪い場合は部活の参加を控えるように呼びかける

1-2 合宿に関して

- 1-2-1 合宿を行う場合には、事前にその予定表を提出し部長に許可をもらう
- 1-2-2 環境が大きく変わるため、食事アレルギー等体調の変化に十分注意する
- 1-2-3 合宿中の禁酒を徹底する

1-3 会合に関して

- 1-3-1 食事会を開く場合、節度ある飲酒を徹底し終電までに終了する
- 1-3-2 大学内外での行動については医学生として責任ある態度を常に心がける

2. 部長・顧問との連絡体制

- 2-1 部長と顧問、主将とマネージャー長は各々の緊急連絡先を共有する
- 2-2 春・秋に懇親会を開き、近況報告を行う

3. 大学との連絡体制

- 3-1 部長、顧問、主将、マネージャー長のいずれかが大学へ連絡すべきと判断した場合は至急その旨を部長へ伝え主将は医学科学事へ、マネージャー長は看護科学事へ連絡する

4. 現在、当部活は学外部員を有していないため割愛

5. ネット上の発言の適切性の確認体制

- 5-1 全部員が医学生としての立場を理解し、社会からどのように見られているのかを意識するように促す
- 5-2 投稿する内容は部全体で確認し、個人の見解のみでは行わない

6. 各種ハラスメント発生・不正の防止・早期発見・早期解決のための仕組み

- 6-1 大学学事課、学生委員会へ相談できることを部員に周知する
- 6-2 部全体でハラスメントや不正を起こさない雰囲気作りを常日頃から心懸ける
- 6-3 ハラスメントが発生した場合、直ちに部長・顧問に報告し、部長・顧問の一方、もしくは両者を含め主将と当事者たちで話し合いの場を設ける
- 6-4 話し合いの内容は記録して議事録を作成する
- 6-5 話し合いで解決できない場合は、大学学事に報告し、判断を仰ぐ

7. 上記1～6が部員全体に十分周知されていることを保証する仕組み

- 7-1 春・秋の最初の練習および新入生が入部した4月の最初の練習時にミーティングを開き上記基本事項について主将が説明する
- 7-2 『安全かつ適切な部・同好会運営のための要項』部員全員が携帯する
- 7-3 電子媒体（硬式野球部公式ホームページ）でも見られるようにする

平成29年5月